

Teen's 通信

NO.61 2023年11月
川口市立図書館 発行



『気になってしまつタイトル』の本、集めました！

『蹴りたい背中』

綿矢りさ／著（河出書房新社）



どこか冷めた気持ちで高校に通う主人公のハツ。クラスで孤立気味の中で少し話すようになったのは、クラスメイトのにな川くらい。芸能人の女の子にご執心でキモいやつだけど、友達付き合いを続けている。深刻な事件や燃える恋愛は起きない、ありふれた世界観に溶け込むように読みたい一冊。（担当M）

『わけあって絶滅しました。』

丸山貴史／著、今泉忠明／監修
サトウマサノリ／絵、ウエタケヨーコ／絵
(ダイヤモンド社)



「川から出られなくて絶滅」したり、「食事がのろくて絶滅」したり…。

絶滅してしまった生き物たちは、いったいどんな理由で絶滅したのか。解説や生息年代などの情報をおいて興味深く書かれています。読みながら「そんな理由で絶滅したんかい！」と思わずツッコミたくなってしまいます。（担当S）

『つぎはぐ、さんかく』

菰野江名／著（ポプラ社）



ヒロは、惣菜と珈琲のお店「△」（さんかく）を営みながら、晴太と中3の蒼の兄弟3人だけで暮らす。そんなある日蒼が「中学卒業後は家を出て専門学校に行きたい」と言い始めて…。一見仲良し3兄弟の3人が抱える複雑な事情とは？（担当T）

『号泣する準備はできていた』

江国香織／著（新潮社）



文乃は旅先で出会った隆志と恋に落ち、一緒に暮らし始めた。しかし、その彼がアパートを出していく半年になる…。

人が人を好きでいることの複雑な心情や、それぞれが抱える思いが豊かな表現で描かれた一冊。表題作ほか全12編の短編集です。（担当S）

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』

神田桂一／著、菊池良／著
(宝島社)



お湯を入れて、湯切りして、かやくを入れて…。カップ焼きそばを作る際の3分間の説明を、もし太宰治を中心とした文豪たちが書いたらどうなったかを想像して書かれた一作。

息抜きに読んで、気になった作家の作品を読んでみるものあり。（担当T）

『ともだちは実はひとりだけなんです』

平岡あみ／短歌、穂村弘／解説
宇野亜喜良／絵（ビリケン出版）



五七五七七の短歌にのせて、中高生のみんなも普段感じるであろう、学校・家族・恋愛についての素朴な想いを詠っています。

作者の平岡あみさんは出版当時17歳！ どのページからでも読める本なので、手に取ったら気の向くままに開いてみてください。（担当M）

ティーンズ 新刊本 ご紹介！

『僕たちの部活がなくなる? ★だったら自分で放課後を デザインしよう！』

青柳健隆／著（旬報社）

みなさんは部活に入っていますか？ 中学校や高校には、いろいろな部活がありますね。今、少子化と、先生の働き方改革の影響により、この「部活」のあり方が変わろうとしています。

今までの問題点を解消し、より良い活動につなげるために、どんな方法があるのか、一緒に考えてみましょう。（担当H）

『私の職場はサバンナです！』

太田ゆか／著（河出書房新社）



著者の太田さんは、南アフリカで「サファリガイド」をしています。サファリガイドになるには、現地で訓練学校に通い、政府公認の資格をとる必要があります。

サファリガイドになったいきさつや苦労、仕事としての魅力、野生動物保護の取り組みについてなど、興味深いエピソードが、たくさん紹介されています。（担当H）

『大学マップ』

小林哲夫／著（筑摩書房）

進路を考える中で、大学に行くことは大きな選択肢の一つです。でも大学ってどうやって選んだらいいの？ ついで、偏差値や知名度で選んでしまいがちですが、卒業後にどんな仕事についている人が多いか、といったことや、資格取得の実績、サークル活動、研究成果など、さまざまな側面から大学をマッピングしてみると、いままで見えていなかった魅力に気付くかも。（担当H）

美味しい話 ❤ 特集

『真夜中のパン屋さん』 大沼紀子／著（ポプラ社）



真夜中の23時～29時にだけ開く不思議なパン屋さん。ある日店を開くと、女子高生が突然やってきて居候することに。そして、客たちが巻き起こす事件に、嵐のように巻き込まれていきます。（担当T）

『和菓子のアン』 坂木司／著（光文社）

高校を卒業した杏子は、デパ地下の和菓子屋でアルバイトを始めます。何気なく入った和菓子の世界でしたが、季節感のある和菓子が持つ物語やユニークな和菓子の用語に驚いたりと、奥深いその世界にぐいぐい引き込まれていきます。和菓子屋さんのショーケースを覗いてじっくりと和菓子を味わいたくなるような一冊です。（担当S）

『にっこり、洋食』 江國香織／[ほか]著 (河出書房新社)



「洋食」と聞いて思い出す味は人それぞれ。村上春樹ら32人の、洋食にまつわる話を集めたエッセイ集。物語の世界では味わえない、作家の違った一面を垣間見ることができます。シリーズで、他の美味しい話もあります。（担当T）

『いちばん大切な食べものの話』 小泉武夫／著、井出留美／著（筑摩書房）



食べる前、その食べものはどこで作られて販売されるかな？食べる時、舌が喜ぶような本物ってどんな味？食べた後、食べものは栄養として健康な体づくりに役立っているのかな？

身近ななぜ？を深めていくシリーズの、食べものの編。（担当M）

『パンとスープとネコ日和』 群ようこ／著（角川春樹事務所）



唯一の身内である母を亡くしたアキコは、「簡素な空間で安心できる食材を使っておいしいパンとスープの店を出したい。」と小さな食堂を開きます。ゆったりと流れる時間の中でネコの「たろ」との暮らしや人々との関わりを通して、心が安らぎあたたかくなる本です。（担当S）

『すし語辞典』

寿司にまつわる言葉をイラストと豆知識で
シャリッと読み解く』

新庄綾子／著、藤原昌高／監修
(誠文堂新光社)



すしが好きな方、必見！すしの歴史や聞きかじったことのあるすし用語の解説、海鮮を美味しくたべるすし屋の工夫まで、「すし」についてはオールマイティな一冊です。

この本をお供に、好きなすしネタに詳しくなるもよし、すし屋さんに行ったときに紛らわせるもよし。シャリッと読んでみてください。（担当M）



電子図書サービスを知っていますか？

24時間いつでも、どこでも、インターネットを通じて自分のスマホやタブレットなどで、読書を楽しむことができます。

中高生向けの電子図書もあるよ！ぜひ使ってみてね♪

利用に必要なもの

川口市立図書館利用カード・パスワード

貸出冊数 3冊（紙の本とは別に数えます）

貸出期間 2週間（自動的に返却されます）

予約もできます！（予約取置期間は1週間）



超～便利！



電子図書サービスの利用には、インターネットに接続可能な環境・端末が必要です。
電子図書をダウンロードしてオンラインで閲覧することはできません。
接続する際に発生する通信料については、利用する方の負担となります。

《編集後記》

ティーンズのコーナーにも、少しずつ新しい本が入っています。ときどきのぞいてみてね♪（担当H）
夢わーくで来た中学生のおすすめ本とポップも中央図書館ティーズコ-ナ-内で展示しています。ぜひ見て下さい。（担当T）
先日、こたつを出しました。暖かい部屋で、ぬくぬくしながら本を読むのは最高ですね。（担当S）
秋には中学生が中央図書館で職業体験をしました！私もピュアな気持ちを忘れずに働いていこうと思います。（担当M）